



第十五章

餃子の行進

餃子が食べたい!と無性に思うことがある。もともと何かを食べに遠出をするほどグルメな夫婦ではないのだが、以前から気になってもいたし、お天気の良さも手伝って、“餃子の街・宇都宮”へ出かけてみることにした。

高速を降り、宇都宮駅付近に差しかかると、下調べをしておいた店を探す。まずは1軒目。様々な種類の餃子を取り揃えたその店は、何とも言えない幸せな匂いに満ちていた。空腹は一気にピークを迎え、夫と私は席に着くやいなや、せっかちに注文を伝える。

やがて奥から餃子を焼く音が聞こえ始め、一段と食欲をかきたてる。すでに小皿にはタレが注がれ、スタンバイOK。程なくして、白い湯気をまといながら、焼きたての餃子が登場した。

待ってました!とばかりに伸ばした私の手を、夫はいきなり制した。

「まだダメ、写真撮る」。

そう言うと、カメラを向けては皿の角度を変えてみたり、すこぶるマイペース…。それにしても、これだけの餃子が並ぶと、結構、圧倒的。まるで餃子の大行進。

「待て」が解かれ、早速、餃子をほおぼる。自然と顔が緩んでしまう。これぞ餃子パワー。あっという間に空になったお皿を重ねて、次に注文した品を待った。そんな時、夫が言った。

「餃子みたいなカメラマンがいいな」。

(なにそれ?)と思いつつ、なんとなく頷いてしまった私であった。

Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラビアなどに携わり日々格闘中。

尾形 操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>

1都1道2府43県〇一期一景

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata

